

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	農水緑ふれあい交流事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	01	環境を活かした農林業の振興
施 策	01	農業の振興
大事業名	060104	農水緑ふれあい交流事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	農業初心者に対して農作業教育を行い、将来の援農ボランティアの育成を行う。地産地消の推進を行う。町内河川に鮎放流を行うことにより住民の交流を図り、食文化の大切さを啓発する。						
成果指標	農水緑ふれあい交流イベントの参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	200	200	200
		実績値		187	114		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	693千円	予算	1,039千円	見込	1,339千円
	うち特定財源	決算	272千円	予算	520千円	見込	820千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	①ふれあいファーム：高山の圃場約1,500㎡を利用し、一般公募した45人の参加者で水稻や野菜栽培の体験学習を行った。実施日は、土曜日の午前中とし、15回開催した。 ②農のふるさと協力隊：25人が高山でボランティア活動を月4回行い、遊休農地約3,000㎡の解消に努めた。 ③鮎放流つかみ取り体験：7月18日に余野川において一般公募した44名の参加者で開催した。また、北摂親愛園を訪問し、同様の体験事業を実施した。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	①高山において、学習農園を開設し、準農家への足掛りとした。 ②ボランティア活動を通じて遊休農地の解消に努めた。 ③鮎放流つかみ取り体験事業を行い、食文化の大切さを啓発した。						
今年度の活動計画	今後、益々増加するであろう遊休農地解消に向けて農空間づくり協議会を設置し対応に努める。また、幼稚園等と協力し鮎放流つかみ取り体験事業を行っていく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	野生鹿・猪等農林業被害防止事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	01	環境を活かした農林業の振興
施 策	01	農業の振興
大事業名	060201	野生鹿・猪等農林業被害防止事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	有害鳥獣からの農林業被害防止のため棲息頭数の適正化を目指した捕獲業務						
成果指標	有害鳥獣の捕獲頭数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	頭	-	180	190	200
		実績値		130	147		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	2,846千円	予算	3,910千円	見込	3,338千円
	うち特定財源	決算	363千円	予算	300千円	見込	300千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	地元猟友会の協力により、シカ95頭、イノシシ39頭を捕獲駆除した。また、農家等に捕獲用檻を無償で貸出し、アライグマ11頭、ヌートリア2頭を捕獲駆除した。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	地元猟友会、農家等の協力により捕獲駆除し棲息頭数を減らすことができた。						
今年度の活動計画	地元猟友会の協力により、シカ、イノシシを合わせて150頭の捕獲駆除を行いたい。また、引き続き、捕獲用檻を無償貸出し、農家等の協力により、アライグマ、ヌートリアを合わせて60頭の捕獲駆除を行いたい。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	生産調整推進対策事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	01	環境を活かした農林業の振興
施 策	01	農業の振興
大事業名	060105	生産調整推進対策事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	生産調整を円滑に実施し米価の安定と戸別所得補償により農家の経営安定を図る。						
成果指標	水稻作付けの生産調整達成率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	100	100	100
		実績値		92	99		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	815千円	予算	1,000千円	見込	1,000千円
	うち特定財源	決算	815千円	予算	1,000千円	見込	1,000千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	平成23年産米の生産調整達成率は、99.44%であり目標をほぼ達成した。農業者戸別補償制度については、米に対する補償の申請者は24人交付額合計は1,518,000円、転作に対する申請者は12人交付額合計は1,055,430円であり、農業者戸別所得補償交付金への加入者の実人数は29人であった。交付については、農林水産省から直接農業者に支払われた。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	生産調整達成及び農業者戸別補償制度の普及につとめた。						
今年度の活動計画	生産調整達成の維持と農業者戸別補償制度の益々の普及を図る。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	森林整備事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	01	環境を活かした農林業の振興
施 策	02	林業の振興
大事業名	060201	森林管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	森林の整備を推進することにより、森林の持つ公益的機能の高度発揮、資源の充実及び林業生産性の向上を図るため補助金を交付する。						
成果指標	間伐した森林面積		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	h a	-	25	25	25
		実績値		15	15		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	801千円	予算	400千円	見込	1,000千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	500千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	大阪府森林組合が森林所有者から委託を受けて施業を行った造林（0.38ha）、下刈（3.58ha）、枝打（5.71ha）には事業費の15%の補助金を交付、間伐（5.24ha）には事業費の10%の補助金を交付し、森林所有者の負担軽減を行った。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	森林の整備をすることにより、森林の持つ公益的機能の高度発揮が図れた。						
今年度の活動計画	森林法の改正により、平成24年度から新たに施行された森林計画制度に対応し、森林経営計画を作成し計画的に施業するためには国の交付金を活用し、対象となる活動を行う団体に補助金を交付することで施業集約化を図ります。そして、20haの間伐を目標に施業を行った森林所有者に補助金を交付し、負担軽減を行います。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	松くい虫防除事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	01	環境を活かした農林業の振興
施 策	02	林業の振興
大事業名	060201	森林管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	松くい虫による被害木の伐倒駆除等により松くい虫被害の蔓延防止を図る。						
成果指標	松くい虫被害木の処理量		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値		-	40	40	40
		実績値	m ³	40	35		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	478千円	予算	988千円	見込	988千円
	うち特定財源	決算	342千円	予算	723千円	見込	723千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	松くい虫被害の蔓延を防ぐため、国の補助事業を活用し、命令防除事業（伐倒駆除）を15m ³ 、奨励防除事業（伐倒駆除）を20m ³ 、大阪府森林組合に業務委託し施行した。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	防除事業により松くい虫被害の蔓延防止が図れた。						
今年度の活動計画	松くい虫被害蔓延防止対策については、長年の取り組みにより、対応すべき被害木が減少したことにより、今年度は命令防除事業（伐倒駆除）を10m ³ 、奨励防除事業（伐倒駆除）を14m ³ 施行していきます。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	農産物直売所設置事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	02	にぎわいを呼ぶ産業の振興
施 策	01	商工業・観光交流の振興
大事業名	060104	農水緑ふれあい交流事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	直売所の設置、運営を行う。						
成果指標	(仮称) 産直の会の会員数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	30	60	90
		実績値		0	0		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	平成22～23年度、公募した12名で直売所設置準備委員会を設置した。準備会議においては、「直売所設置計画」「運営ガイドライン」を作成した。また、先進地調査、レジシステム研修、農家への説明等を行い活動は30数回行った。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	参画農業者が2名と少なく設置に至らなかった。						
今年度の活動計画	現在計画はない。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	都市交流事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	02	にぎわいを呼ぶ産業の振興
施 策	01	商工業・観光交流の振興
大事業名	060107	コミュニティセンター管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	様々なイベントにより都市と農村との交流により、高山地区の活性化を図る。						
成果指標	右近の郷でのイベント参加人数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	1,000	1,100	1,200
		実績値		898	3,427		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	5,095千円	予算	3,500千円	見込	3,500千円
	うち特定財源	決算	3,653千円	予算	500千円	見込	500千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	たけのこ掘り体験、野菜収穫体験、栗拾い体験、さつまいも掘り体験、餅つき体験、椎茸の菌入れ体験を実施し、多数参加した。又、なにわの伝統野菜に認証されている高山真菜まつりを実施し460人が参加した。 高山コミュニティセンターの年間利用数は約3,000人。						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	高山自治会等の協力により、たけのこ掘り体験等上記事業を実施することができ、町内外(農村部以外)からの参加により、農村との交流が図れた。						
今年度の活動計画	年間を通じて、(5月)たけのこ掘り体験、(6月)じゃがいも掘り体験、(7月・8月)野菜の収穫体験、(9月)稲刈り体験、(10月)さつまいも掘り体験、(3月)真菜まつりを行なう。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	商工事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	02	にぎわいを呼ぶ産業の振興
施 策	01	商工業・観光交流の振興
大事業名	070101	商工事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町商工業の振興を図るため、商工会等の活動支援及び商工業者の経営基盤の強化を図る。						
成果指標	商工会の会員数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	250	250	250
		実績値		250	230		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	3,680千円	予算	3,688千円	見込	3,688千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	地域商工業の振興、発展に向けた幅広い各種支援活動（経営相談、金融指導、専門相談会等）の事業を実施。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	長年、豊能町主催で実施されてきた秋の町民祭を豊能町、観光協会ならびに商工会による実行委員会を組織し、とよのまつりとして開催。来場者により親しみやすいものにするとともに商工業者が多数出展しイベントを盛り上げる一方、地域の方々に地元の事業所を紹介する機会を提供した。						
今年度の活動計画	国、府、町をはじめ関係機関との連携を保ちながら会員各位の協力のもと各事業を展開する。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	観光事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	02	にぎわいを呼ぶ産業の振興
施 策	01	商工業・観光交流の振興
大事業名	070101	観光事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	民間や他の自治体と協力を図り観光客の増加を図る。						
成果指標	観光の入込客数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	28,000	28,250	28,500
		実績値		27,787	21,102		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	1,939千円	予算	1,997千円	見込	1,997千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	「とよのの道」をテーマに、フォトコンテストを行なった結果、51名149点の応募があった。新たな観光マップ8千部を作成し、観光案内所をはじめ他市町の観光協会にも配布。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	フォトコンテストに町内外から応募があり、「とよのの道（平成23年度課題）」を再発見することができた。ただし観光資源として活用できるかは、これからの検討課題である。また、観光マップを配布することにより豊能町をPRできた。						
今年度の活動計画	豊能地区広域観光推進協議会等による観光あるき（石仏）の実施。 観光ボランティアガイド養成講座実施。 ほたる観賞会実施。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	企画政策課（農林商工課）
事務事業名	特産品普及拡大事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	02	にぎわいを呼ぶ産業の振興
施 策	02	特産品の開発・販売
大事業名	020106	企画一般事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	豊能町を町外にPRする上で、特産品が必要である、インパクトのある誰もが一度で覚えるような特産品を開発する						
成果指標	特産品を使用した新規商品開発数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	商品	-	—	0	1
		実績値		0			

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	—		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	亥の子餅を復活させようと試みたができなかった。						
前年度の活動成果 〔どのような効果をもたらしたのか〕	効果なし。						
今年度の活動計画	新たな特産品を模索し、商品化につなげていく。						